

HTML TIPS & TRICKS

第 17 回

誰よりも早く 最新のHTMLを使ってみよう

藤井幸孝 白畑真 川田哲

ネットスケープコミュニケーター5.0のソースコードが公開され、IE5.0のうわさも語られるようになってきた。両ブラウザがHTML4.0やスタイルシートに完全対応する日も近い。これからのWebページがますます進化していくことは間違いないが、どんなテクニックを使えばよいのか迷っている読者も多いだろう。今月もHTML4.0に対応したTIPSからブラウザ独自のTRICKSまで幅広くお届けする。

このコーナーを楽しむために

最新のHTMLを使う際に、どうしても避けて通れないのがWWWブラウザの互換性の問題だ。そこでこのコーナーでは、TIPSごとにブラウザの対応状況をアイコンで表している(5月10日現在)。これを参考に使用するWWWブラウザを選んでほしい。



インターネットエクスプローラ3.0以上



インターネットエクスプローラ4.0以上



ネットスケープナビゲーター3.0以上



ネットスケープナビゲーター4.0以上



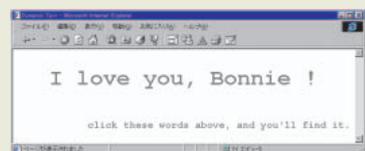
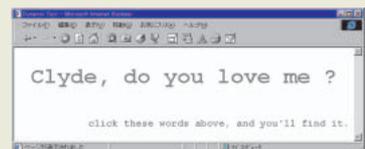
6月号「HTMLパズルに挑戦しよう」の解答

6月号のパズルは、「あるプロパティを知っているかどうか」だけで決まってしまう問題なのだが、解答者が少なかったのは残念だ。こうした「ダイナミックコンテンツ」はIE4.0のダイナミックHTMLの基本なので、ぜひ使いこなせるようになってほしい。それでは解答を発表しよう。

ANSWER ① 文章をダイナミックに入れ替える!

<DIV>タグで囲まれたテキストを作り、class属性でスタイルシートを指定する。onClickで呼び出す関数(ここでは「ChangeText」)を作成し、関数内でinnerTextプロパティを変更してテキストを入れ替える。innerHTMLプロパティでも正解とした。

```
<DIV class="style1" onClick="ChangeText(this)">
Clyde, do you love me ?</DIV>
:
<SCRIPT Language="JavaScript">
n = 0
text = new Array("Clyde, do you love me ?", "Yes, I love you, Bonnie !")
function ChangeText(obj) {
if (n == 0) n = 1; else n = 0
obj.innerText = text[n]
}
</SCRIPT>
```

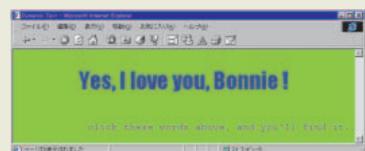
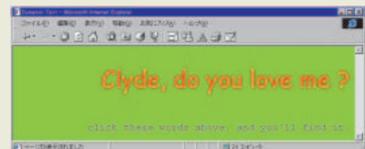


正解者: 富園 慎一郎さん、佐藤 義和さん

ANSWER ② スタイルをダイナミックに入れ替える!

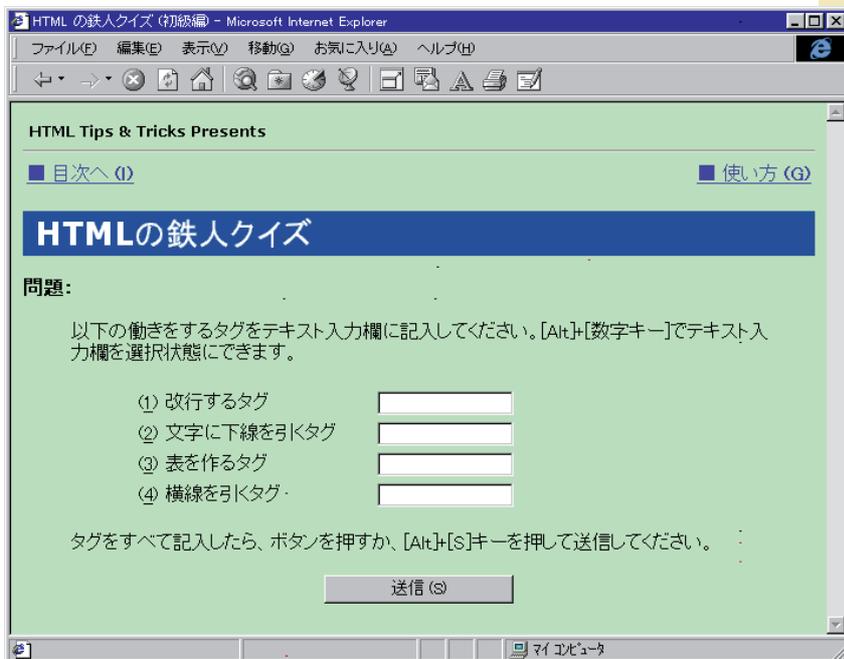
スタイルシートを2つ用意しておく。第1問で作成した関数内で、class属性に対応するclassNameプロパティを変更し、色、フォント、位置などのスタイルを一気に入れ替える。

```
:
var style = new Array("style1", "style2")
function ChangeText(obj) {
if (n == 0) n = 1; else n = 0
obj.innerText = text[n]
obj.className = style[n]
}
```



正解者: 富園 慎一郎さん

キーボードでページを操作する



図は一見しただけでは何の変哲もないページようだ。だが、このページのリンクに秘密が隠されている。リンクにアクセスキーが割り当ててあり、特定のキーを押すとリンク先にジャンプするのだ。「Alt」+「1」キーなら、目次のページに飛ぶ。このTIPSを使えば、いちいちマウスポインタを移動する代わりに、ただキーボードのキーを押すだけでページの機能が使えるようになるのだ。キーボードでテキスト入力欄にフォーカスを移動したり、送信ボタンを押したりすることもできる。これはHTML4.0の新機能なので、これからの時代のウェブマスターは必ず覚えておかなければならないだろう。それではその方法を紹介しよう。



```
<A HREF="index.html" ACCESSKEY="1"> 目次へ(1)</A>
```

Point

アクセスキーを割り当てるには、タグに「ACCESSKEY」という属性を追加するだけだ。「ACCESSKEY」属性はHTML4.0で導入されたものだ。たとえば<A>タグの中に「ACCESSKEY="1"」と書けば、ウィンドウなら「Alt」+「1」キーでリンク先にジャンプすることができる(マックintoshの場合はコマンドキー+「1」だと思われるが、マックintosh版IE4.0でもまだ対応していない)。「ACCESSKEY="N"」なら「Alt」+「N」キー、「ACCESSKEY="P"」なら「Alt」+「P」キーでジャンプする。

注意する点は、A、C、E、F、G、H、Vの各キーがインターネットエクスプローラとネットスケープナビゲーターのメニュー用に割り当てられていることだ。これらのキーは使わないほうが無難だろう。また、アクセスキーを使うときには、どのキーを押すとどこへジャンプするのかユーザーにわかるよう

に「目次へ(1)」のように書いておくべきだ。

この「ACCESSKEY」属性は、<A>タグだけでなくフォーム関連のタグに使うこともできる。「<INPUT TYPE="submit" ACCESSKEY="S">」とすれば、「Alt」+「S」キーでフォームを送信できる。

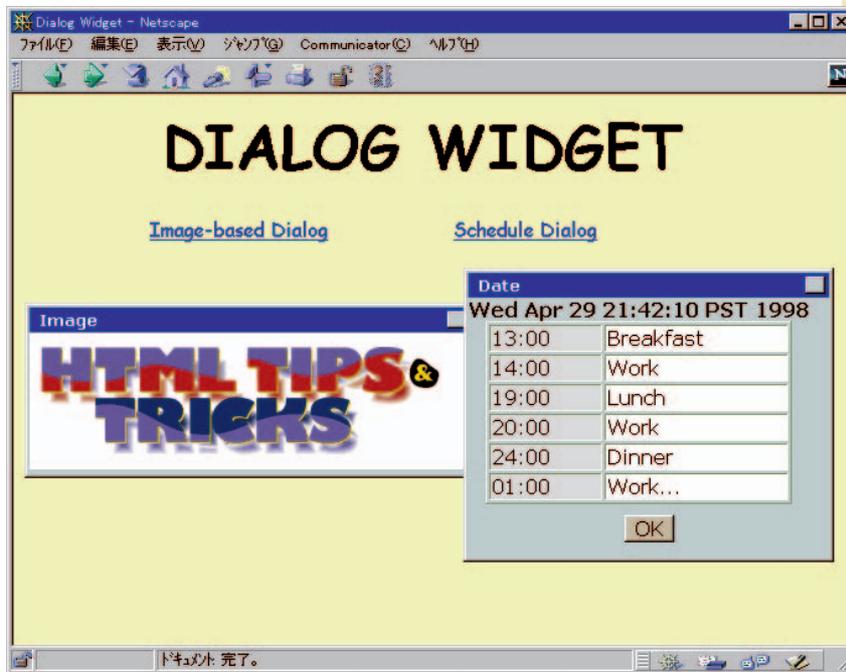
<INPUT>タグとHTML4.0で導入された<LABEL>タグを組み合わせれば、キーボード操作でテキスト入力欄のフォーカスを移すこともできる。

```
<LABEL FOR="box1" ACCESSKEY="1">
(<U>1</U>)改行するタグ</LABEL>
<INPUT TYPE="text" NAME="q1"
TABINDEX="1" ID="box1">
```

<LABEL>タグは、「ラベル」という名のとおり、

テキスト入力欄などの説明を表示するためのタグだ。まず「<INPUT TYPE="text">」でテキスト入力欄を作り、「ID」属性で「box1」という名前を付けておく。次に<LABEL>タグを作り「FOR」属性で何のためのラベルなのかを指定する。「box1」というIDの欄のためのラベルなので「FOR="box1"」とする。あとは「ACCESSKEY="1"」とすれば、「Alt」+「1」キーで「FOR」属性で指定したテキスト入力欄にフォーカスが移動するようになる。<LABEL> ~ </LABEL>の中には「(<U>1</U>)」と書いて、どのキーを押せばいいのかユーザーにわかるようにしておこう。

ダイアログボックスをカスタマイズする

JavaScriptを使うと、ダイアログボックスでメッセージを表示させることができる。例えばalertやconfirmだ。ただし、ダイアログのタイトルやボタンは決まったものしか使えないし、メッセージに使えるのはテキストだけだ。今回紹介するダイアログはこれとはひと味もふた味も違うぞ。画像やHTMLを指定したり、ボタンをいくつも表示したりできるカスタマイズ可能なダイアログボックスだ。押すとJavaScriptを実行するボタンも作れるから、おそでないことはない。これで君のページもウェブアプリケーションになる！フリーのコンポーネントを利用するだけなので手間はいかからない。早速試してみよう。



```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript1.2" SRC="dialog.js"></SCRIPT>
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript1.2">
<!--
function imageDialog ( ) {
  var dialog = new Dialog ( ) ;
  dialog.setDialogContent( '<IMG SRC="title.gif">' );
  dialog.openDialog( 'imgDialog' ) ;
}
//-->
</SCRIPT>
```

POINT

いろいろカスタマイズできるこの便利なダイアログボックスは、「Dialog Widget」と呼ばれるフリーのJavaScriptコンポーネントを使って作られる。まずこのコンポーネントを入手しよう。

<http://developer.netscape.com/docs/examples/dynhtml/dialog/dialog.html>

このページで、「dialog.js」のリンクを「名前を付けて保存」しよう。ダウンロードできたかな？ できたらHTMLファイルの<HEAD> ~ </HEAD>内に、以下のように書き込んでおこう。

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript1.2"
SRC="dialog.js">
```

これで便利なダイアログコンポーネントが使える

ようになった。

続いて、簡単なダイアログを1つ作ってみよう。サンプルの「imageDialog」関数だ。まず「new Dialog ()」で「dialog」オブジェクトを作る。次に表示する内容（HTMLの文）を「setDialogContent」メソッドで指定する。ここでは画像を表示させるために、タグを書き込んだ。最後にダイアログを開く「openDialog」メソッドを呼び出す。

この「imageDialog」関数を好きのときに呼び出せば、ブラウザの上に自分のダイアログを表示できる。例えば、JavaScriptを呼び出す<A>タグを書けばよい。

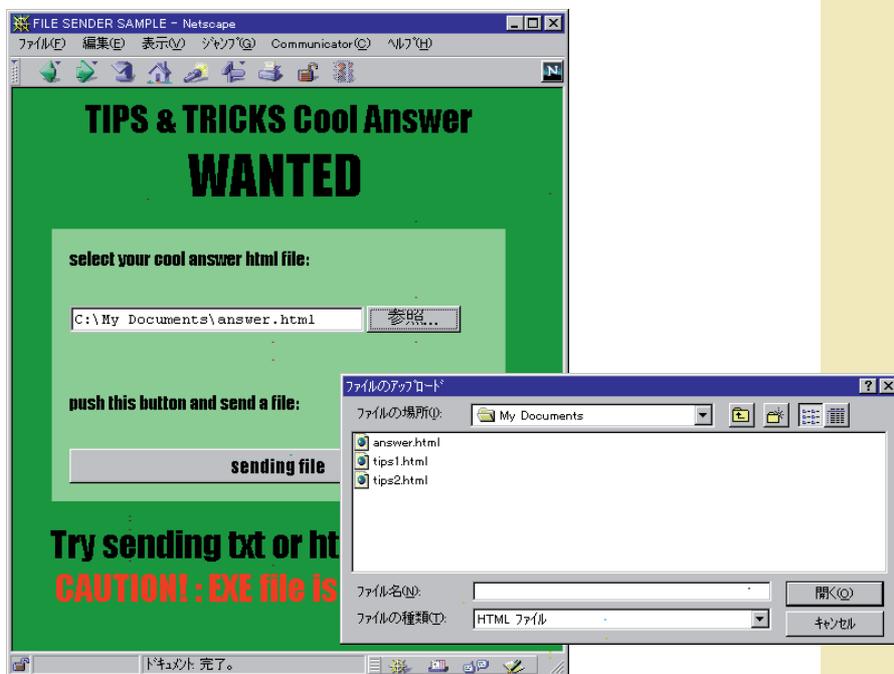
```
<A href="javascript:imageDialog ( );">
Image-based Dialog</A>
```

「BODY」タグの「onLoad」やボタンの「onClick」など、ダイアログを表示させるタイミングはいいろいろ考えられるだろう。

「setDialogContent」で指定するHTML次第で、ダイアログに表を載せたり色を付けたりすることもできる。このほかにもダイアログコンポーネントにはたくさんのメソッドがある。以下のように指定すれば、「My Dialog」というタイトルで「OK」ボタンが付いたダイアログになる。「OK」ボタンを押すと、「alert('OK Button is Clicked!');」が実行される。

```
dialog.setDialogTitle( "My Dialog" );
dialog.addDialogButton( "oklabel",
"OK", "center", 3, "alert( 'OK Button
is Clicked!' );" );
```

フォームからファイルを送信する



メールにはもう当たり前ファイルが添付されてくる。フォームを使えばWWWからメールを送ってもらえる。では2つあわせてWWWからファイルを添付して送ってもらうことは？ これまたもちろんできるのだ。難しいテクニックは必要ない。ファイル選択・送信機能を使ってみよう。これは以前からHTMLにあったのだが、使いかたがよくわからない読者が多いのではないだろうか。ちょっとしたコツがいるが、うまく使えばスクリプトもCGIも書かずにHTMLだけでインタラクティブなページを作ることができる。ホームページでクイズ大会を開催したり、意見を募集したりして、ビジターとの交流を深めよう！



```
<FORM ENCTYPE="multipart/form-data" METHOD="post"
ACTION="mailto:ip-cdrom@impress.co.jp">
<INPUT TYPE="file" NAME="filename">
<INPUT TYPE="submit" VALUE="sending file">
</FORM>
```

POINT

上記のサンプルを見てのとおり、とても簡単なテクニックだ。

<INPUT>タグの種類の1つとして用意されている「file」を利用する。

```
<INPUT TYPE="file" NAME="filename">
```

「file」を指定した<INPUT>タグは、入力ボックスの右側に「参照...」と書かれたボタンを備えている。このボタンをクリックすると、おなじみのファイル選択ダイアログが開いて、ローカルディスク内のファイルを選択できる。

ただし、このままではファイルを送信できない。試しに送ってみるといいが、単にファイル名が書かれたメールが届くだけだ。そこで変更しなければならぬのが、<FORM>タグの中の「ENCTYPE」属性だ。

```
<FORM ENCTYPE="multipart/form-data" ...>
```

以前にエンコードされないフォームデータを受け取る方法として「ENCTYPE="text/plain"」を紹介した。今回はファイルを送るためのエンコード方法として「ENCTYPE="multipart/form-data"」を利用する。この属性を設定しておく、送信されるデータがMIMEのマルチパート形式で整形され、ファイルが添付されたメールとして届けられる。

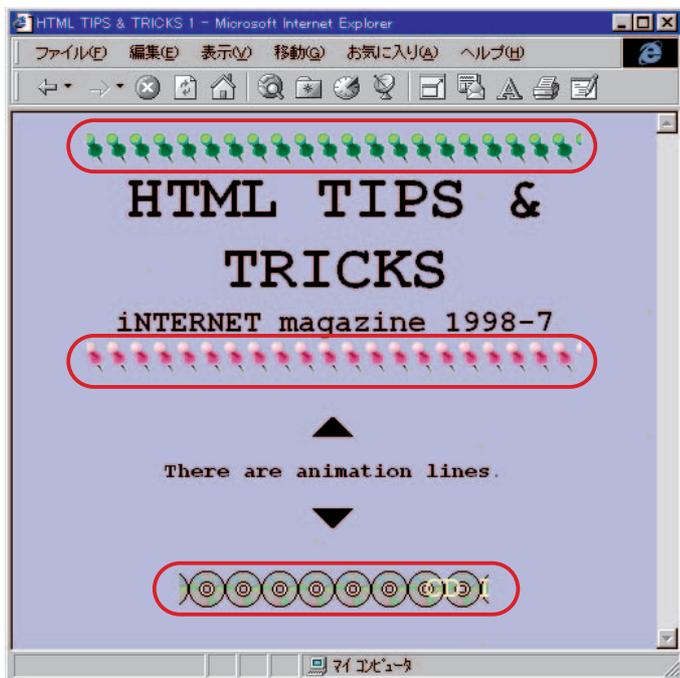
届け先は「ACTION」属性で君自身のメールアドレスを指定しておくことよ。送信ボタンはいつものとおり「TYPE="submit"」だ。

なお、画像などのバイナリーファイルを送ると、データの8bit目が落ちてしまい、ファイルが壊れることがある。また、ファイルがうまく添付され

るのはネットスケープナビゲーターだけで、インターネットエクスプローラではうまくいかないようだ。

さて最後に申し訳ないが警告をしておく。通常の添付ファイル付きメールと同じく、この方法でも実行可能なプログラムファイルなどを添付して送ることができる。メールを開いただけで破壊プログラムが.....なんてことはまずないが、君の知らない人がメールを送ってくる可能性もあるだけに、受け取った添付ファイルをむやみに実行させることは避けよう。疑わしいEXEファイルなどは、無視したほうが無難だ。どうしても不安な人は、ページにアクセス制限をかけて、気心の知れた仲間だけにこのフォームを使ってもらおうというの手かもしれない。

罫線をアニメーション表示する



アニメーションGIFを罫線に使うと、<HR>タグを使った罫線とはひと味違うデザインになる。しかし、そのためにはアニメーションGIFを用意しなければならないと思うだろう。ところが、左のページを見てほしい。紙面だけではよくわからないが、このページにも右から左へ流れるアニメーション罫線がある。使われている画像は、アニメーションGIFではなく、ごく普通のGIF画像である。Javaアプレットでもないし、タイマーを使用するスクリプトを書いているのでもない。いったいどうやって実現しているだろうか。実は、ちょっとしたアイデアで可能なのだ。さっそくご紹介しよう。



```
<MARQUEE STYLE="background-image: url( image1.gif );"
WIDTH=80% HEIGHT=25>
</MARQUEE>
```

Point

アニメーション罫線に見えていたのは、実はマーカーを使って、アニメーション表示させたい画像を右から左へに流していただけなのである。このTIPSの核となる<MARQUEE>タグの中身をさっそく見てみよう。

いろいろなタグにスタイルシートを指定することによって、ページデザインを細かく設定することができるが、<MARQUEE>タグにもスタイルシートを指定できる。ここでは背景画像を指定する「background-image」を使っている。「url」の「()」の中には、画像ファイルの相対パスや絶対パスを指定する。

<MARQUEE>タグに「background-image」を指定すれば画像がスクロールするようになる。画像にはアニメーション罫線に適したものを指定し、<MARQUEE> ~ </MARQUEE>の間は空にする(文字を入れてもよい)。マーカーの高さを指定するHEIGHT属性には必ず画像の高さと同

じ数値を指定すること。省略すると画像が途中で切れてしまうことがある。また、WIDTH属性で罫線の幅を調節する。

<MARQUEE>タグにはいくつかの属性を付けて、さまざま動きをさせることができる。主なものは以下のとおり。

スクロール方法

BEHAVIOR=SCROLL/SLIDE/ALTERNATE

スクロールの方向

DIRECTION=DOWN/LEFT/RIGHT/UP

スクロール回数

LOOP=数値/INFINITE

スクロール速度

SCROLLDELAY=数値(ミリ秒)

スクロール幅

SCROLLAMOUNT=数値(ピクセル)

たとえば、「BEHAVIOR」属性に「ALTERNATE」を指定すれば、罫線の動きを往復させることができるし、「DIRECTION」属性でスクロール方向を上下左右に変えられる。「SCROLLDELAY」属性を使えば速度を調節できる。こうした属性によって、アニメーションのパターンをほぼ無限に生み出すことができるだろう。

アニメーションGIFで罫線を作ると、アニメーションGIF作成用ソフトを別に用意しなければならず、ファイルのサイズも大きくなりがちだ。特にこだわりがなければ、この方法でふつうのGIFファイルをマーカーに使うことで十分な効果が得られる。いろいろな画像で試してみよう。

HTMLパズルに挑戦しよう

隠されたトリックを解き明かせ！



今月のテーマ

HTML4.0のテーブルを制する

HTML4.0では、「構造」と「見栄え」を明確に分けることが要求される。タグや「BGCOLOR」属性、「ALIGN」属性はもう過去のものだ。これはテーブルにも当てはまる。テーブルはあくまで「表」を作るためのもので、レイアウトのためのタグではない。テキスト中心のブラウザでも表として認識されなければならないのだ。今月は、いかにもHTML4.0的なパズルに挑戦していただく。トリックがわかったらすぐに解答を送ってほしい。正解者には抽選で1名にオリジナル腕時計をプレゼントさせていただく。なお、正解は来月のこのコーナーで発表する。それでは頭をやわらかくして、今月のテーマ「HTML4.0のテーブルを制する」にチャレンジ！

「HTMLパズルに挑戦しよう」宛先

正解がわかった人も、わからなかった人も、ご意見、ご感想など何でもOK、次の宛先にメールしよう。用件の欄には必ず
HTML TIPS & TRICKS
の1行を忘れずに。あなたの挑戦を待つ！

✉ ip-cdrom@impress.co.jp

QUESTION 1 行と列に色を付ける！



Browser	Version	%
Microsoft Internet Explorer	4.0x	34.7
Netscape Navigator	4.0x	25.9
Microsoft Internet Explorer	3.0x	14.6
Netscape Navigator	3.0x	13.5
Other	-	9.8

左のサンプルは、これまでもよく見られた色付きのテーブルだ。1行目は、背景色が黒で文字色が白、2行目以降は1列目が灰色の背景、2、3列目が黄色い背景だ。また、1列目はすべて文字が左寄せで、2、3列目は右寄せになっている。今までのテーブルに慣れた人なら、簡単だと思うかもしれない。「BGCOLOR」属性が思い浮かぶだろう。しかし、HTML4.0的にスタイルシートを使って、「構造」と「見栄え」を区別するようにしてほしい。<TABLE>、<TR>、<TH>、<TD>タグには色を表わす属性を一切指定してはならない。もちろんタグもNGだ。本誌6月号の集中企画を読んだ読者ならきっとわかるだろう。

ヒント 行や列を構造化するタグは.....

QUESTION 2 特定の行と列に線を付ける！



Browser	Version	%
Microsoft Internet Explorer	4.0x	34.7
Netscape Navigator	4.0x	25.9
Microsoft Internet Explorer	3.0x	14.6
Netscape Navigator	3.0x	13.5
Other	-	9.8

左のサンプルは第1問で作ったテーブルに何かを追加して、枠線を入れたものだ。1行目のまわりと1列目のまわりにだけ枠線が引かれている。今までのHTMLでは、すべての行と列に枠線を付けるか、まったく付けなしかどちらかだったが、HTML4.0ではこのような枠線で表の構造を強調し、わかりやすくすることができる。<TR>タグや<TD>タグにいちいち何かを指定しているのではない。1つのタグに1つの属性を付けるだけで、このような枠線が引けるのだ。サンプルでは見やすくするために、<TABLE>タグにIE4.0独自の「BORDERCOLOR」属性を指定して線を赤くしてあるが、それが問題ではない。肝心なのは枠線の付け方だ。

ヒント HTML4.0で<TABLE>タグに追加された属性は.....



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp